

別紙：子育て世代への支援サービスに関わる取り組み概要

中部電力のきずなネットアプリ利用者



中部エリアの学校連絡網利用者が主に利用

妊娠・出産

入園・入学

カラダノート社のサービス利用者



妊娠・育児世代が利用

妊娠・出産

入園・入学

協力

① 子育て関連情報やサービスの相互協力



カラダノート



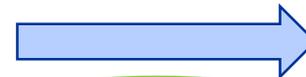
発信コンテンツの連携
サービスの相互連携・企画開発



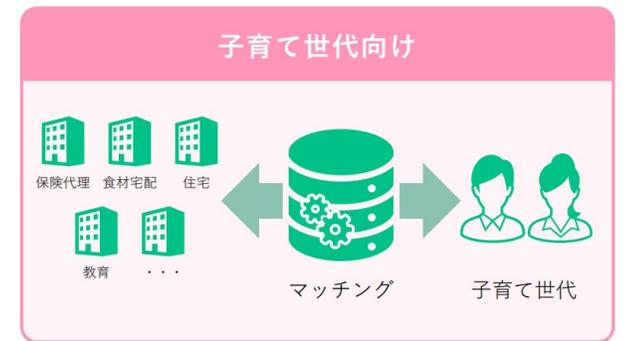
② 幅広い子育て世代へのライフイベントマーケティングでの協力



アプリ利用者への共同キャンペーン



顧客特性
エリア特性



子育て世代の属性やニーズに応じた
地域企業等が提供するサービスのマッチング
(保険、住宅、食材宅配、教育など)

(参考) きずなネットとは

運用実績 **16年** 導入校 **1,800校** 利用者数 **120万人**

「きずなネット」は中部電力が運営する連絡網サービスで、2005年に「きずなネット学校連絡網」として学校向けに連絡網サービスを開始しました。今では企業や医療機関、学習塾など学校以外の団体向けに「きずなネットモバイル連絡網」としてサービスを展開しています。



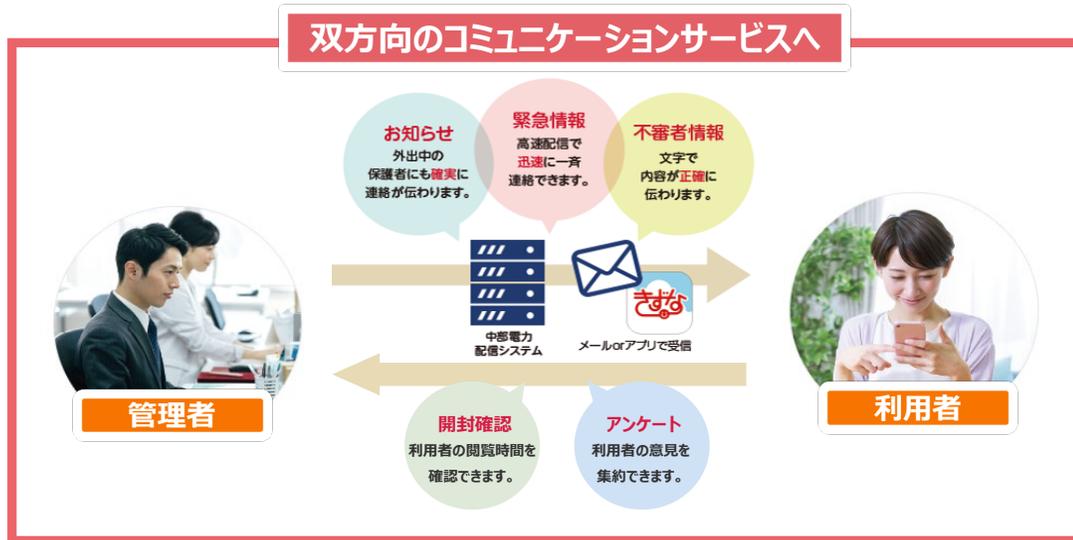
幼稚園、保育園、小学校、
中学校、高校向けのサービス



企業や医療機関、学習塾、
スポーツクラブ向けのサービス

管理者から一方通行の連絡網機能だけでなく、アンケート機能や、開封確認機能など利用者から管理者へのコミュニケーション機能も搭載しています。

双方向のコミュニケーションサービスへ



「きずなネットアプリ」を利用すれば、連絡網の受け取り以外にも防災・防犯・学び・子育てなどの安全安心に関連したお役立ち情報を受信できます。



・連絡網の受信

連絡網

・子育てに役立つ読み物

- 子育てチャンネル
- 学びチャンネル
- 進路サポートチャンネル

・安心安全コンテンツ

- 防犯情報
- 防災情報
- お天気情報
- 地震・津波情報

(参考) カラダノート社の事業概要

■カラダノート (東証マザーズ 4014)

家族の健康を支え、笑顔をふやす
をビジョンに掲げ、家族の繋がりを起点としたヘルスケア事業を展開

■事業概要

・DBマーケティング事業

ライフイベントを起点とした生活者と事業者のマッチングを行う“かぞくアシスタント”

・家族サポート事業

ヘルスケア、ウェルネスアプリの提供を始めとした、生活インフラサービスを提供

・DX推進事業

DXを通じたライフイベントマーケティングの効率化を推進→かぞくアシスタントのOEM提供

■事業概況 (前年比)

売上 1002百万円 (+37%)

営業利益 223百万円 (+68%)



カラダノートのビジョン

©2021 Karadanote Inc. All rights reserved

家族の健康を支え 笑顔をふやす

Corporate Vision

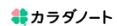
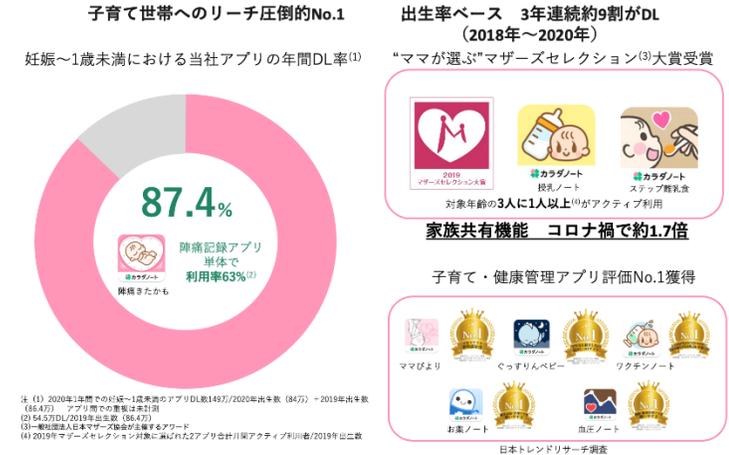


ライフイベントを起点に日本の幸福度を向上

競争力の源泉



©2021 Karadanote Inc. All rights reserved



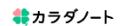
事業概要

©2021 Karadanote Inc. All rights reserved

カラダノートが向き合う社会課題“少子高齢化”
ウェルネス・ヘルスケアに関連した3つの事業を展開
両市場におけるサービス領域を広げることで、社会課題を解決を目指します

家族サポート事業 家族生活環境の効率化支援
DBマーケティング事業 DB活用によるマッチング支援
DX推進事業 家族生活周辺産業のDX化

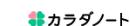
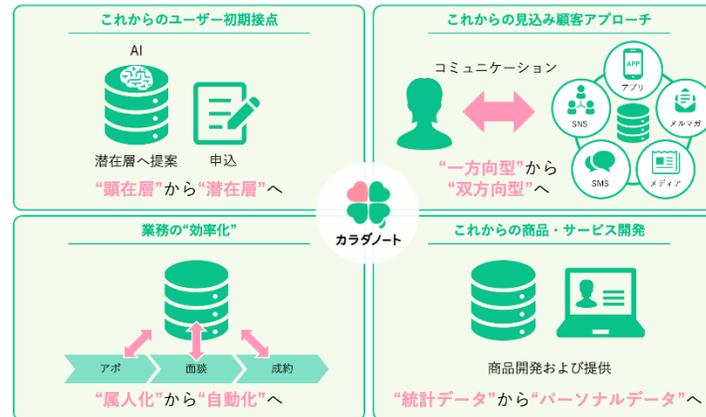
	ウェルネス	ヘルスケア	ウェルネス	ウェルネス
アプリ提供	かぞくアシスタント	かぞくヒカリリア	かぞくアシスタント	かぞくアシスタント
生活インフラ	かぞくお保険 (SR)	WATER	かぞくヒカリリア	かぞくのおうち
顧客	個人向け	個人向け	大～中小企業向け	大手企業向け
KPI	アクションユーザー数 × LTV		契約企業数 × サービス活用期間	契約企業数 × サービス活用期間
成長期待度	○安定成長 ○ストック型	◎飛躍的成長	○安定成長	◎飛躍的成長



当社の存在意義

©2021 Karadanote Inc. All rights reserved

家族を幸せに導くために、家族データを利活用し、新たな価値提供を実現



社会構造の中での当社の関与領域

©2021 Karadanote Inc. All rights reserved

